

## 2024年 1月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 1月 7日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：永井 徹 感話：溝口 春江  
聖書講話：マルコによる福音書 15章16～32節  
「イエス、十字架につけられる」 水戸 潔
  
- 1月14日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：岩田 堯 感話：生江 扶左子  
聖書講話：聖書講話：ロマ書10章5節～13節  
「イエスは主であるという告白  
一塚本虎二著『使徒信條講』を中心に」 笹井 あかね
  
- 1月28日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会 大手 美千代 感話：武井 めぐみ  
聖書講話：ヨハネの黙示録 8章  
「天に静けさ 続いて審判が自然界に」 武井 陽一

### ・・・通信・・・

- 『梶本うめ子 神は愛なり』(桐生清次編)(出版社・読書日和：福島憲太)が発刊されました。うめ子先生ご自身の生涯の証しです。お読みください。1冊2200円の予定。

そういうこと(戦争)は起るに決まっている マタイ24・6 溝口 正  
神に反逆し、罪を公然と犯し、知恵を誇って神の創造の領域まで侵す人間が全世界に満ち溢れているかぎり、戦争は「起ることに決まっている」のである。だから「慌てないように気をつけなさい」と言うことになるのである。

この言葉に関して、私の思うことを二～三、書きとめておきたい。

第一は、この言葉の最も危険な受け取り方は、戦争は起るに決まっているから反対しても無駄、平和運動も無益、という無関心となることである。命の尊厳を忘れた態度である。

第二は、最も本質的な受け取り方で、戦争の原因が人間の罪であるから、福音伝道こそ根源的平和運動。慌てず静かに伝道することが最も重要。然りである。

第三は、平和運動可能な時代であるから、戦争に反対しないのは罪である。すべての人、政治家、社会などの戦争にくみする罪を指摘して公然と悔改めを求める。「平和を実現する人間になって下さい」と訴える。我々のできる平和運動はここまで。最終的には世界を支配し給う神が、必ず平和を実現して下さることを確信して「慌てることなく」信仰から流れ出る平和実現への祈りと努力を続ける以外に道はない。  
(1998年10月『復活』第383号)